農林水産省 近畿農政局（兵庫県拠点）

Vol.127

農政局だより@ひょうご

2026.10

H-SATT

〒650-0024
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎
TEL:078-331-5924　Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp

12月8日は「有機農業の日（オーガニックデイ）」

＼祝！制定10周年／

「有機農業の日」って知ってる？

有機農業推進法の成立・施行から10周年を記念し、2016年に、12月8日が「有機農業の日」として制定されました。

有機農業の日

有機農業って「やさしい農業」

化学肥料や化学農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培方法であり、土壌環境や生物の多様性など農業生態系を守ることにつながります。

身近なところにも、オーガニックな「モノ」「コト」があふれています。有機農業の日（オーガニックデイ）をきっかけに、お店で有機食品を選ぶ、関連イベントに参加するなど、新しい体験をしてみませんか。

有機農業を盛り上げよう！

「有機農業の日」特別期間の取組を募集しています

特別期間：11月14日（土）～12月13日（日）※期間前後の取組も対象

農林水産省では、2030年までに有機農業の取組面積を6万3千ヘクタールに拡大する目標を掲げており、目標達成には消費の拡大も重要です。「有機農業の日」に合わせて、11月14日から特別期間を設け、学校給食での有機農産物の活用や有機食品の販売促進など、全国の自治体や事業者の取組を募集！期間中は特設サイトにて取組をご紹介します。詳細は右のQRコードよりご覧ください。

「有機農業の日」特設サイト▼

統計データ分析資料のご紹介

～拠点ウェブサイトに分析資料を掲載しました～

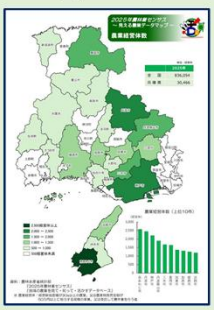


農林水産省が実施している統計調査や農林業センサスのデータを基に作成した、兵庫県内の地域農業に関する統計データや分析資料を兵庫県拠点ウェブサイトに掲載しています。

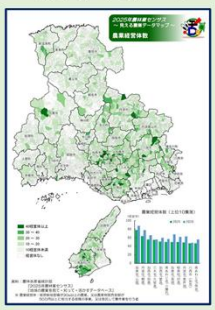
―― 見える農業データマップ ――

農林業センサスデータを用いて
地域農業の現状を地図上で見える化

【市町別】



【農業集落別】



―― データでみる兵庫県の農業をとりまく状況 ――

農林水産統計及び行政情報等の各種データから
兵庫県の農業をとりまく状況を見える化

【農業経営体数】



【経営耕地面積の集積割合】



このほか、市町村別農業産出額（推計）を掲載しています。
もっと詳しく見たい方は、こちらから ▶

キラリ☆現場にて

里山から未来を醸す 環境に優しいぶどうづくりへの挑戦

＜川西市「北摂ワイナリー株式会社」代表取締役　遠藤　薫さん＞

　川西市黒川地区でぶどうを栽培し、クラフトビールを販売する「北摂ワイナリー株式会社」の遠藤薫さんにお話を伺いました。



【遠藤　薫さん】

～農業を始めたきっかけ～

　子育てをしながらインターナショナルスクールに勤務しており、子どもの独立等を機に仕事を続けながら大学の通信教育課程に入学しました。入学後、職場の体制が変わったことで多忙を極め、体調を崩し、ひと月ほど休養しました。
　休養中にテレビで見たスイスの世界文化遺産「ラヴォー地区の葡萄畑」に感銘を受け、「ぶどう畑に居たい」と思ったことが農業を始めるきっかけとなりました。
　各地のワイナリーを訪れたり就職も試みましたが、若くもなく経験もなく就職は叶いませんでした。
　それなら、自分でやろうかなと考え、知人から紹介された川西市黒川地区で農地貸借のために会社を設立しました。

～どのような取組をされていますか～

　農地バンクを介して借りた耕作放棄地を開墾し、無肥料減農薬でぶどうを栽培しています。また、ほ場の一部に長年地域で栽培されてきたダリアも植えています。
　ぶどうは病獣害等により思うように収穫できていませんが、昨年収穫した自社ぶどうと山形の友人のワイナリーから購入したぶどうを使用したクラフトビール（商品名「妙見エール」）を委託醸造し、今年４月に約250リットル製造することができました。
　一般酒類小売業免許を取得し、現在、主にイベントやマルシェ等で販売しています。



【ぶどう（品種名：ビジュノワール）】

～今後の展望～

　健全なぶどう樹の育成に努め、安定的な収穫の実現を目指しています。収穫量を増やしてワインの委託醸造・販売することが一番の目標です。
　その他には、フラワーアレンジメントを勉強中なので講師として活動したり、将来的には旅行会社勤務の経験や中米留学で習得したスペイン語を生かし、冬の農閑期にスペイン語圏のワイナリーと世界遺産を巡るツアーを企画して、お客さんと一緒に旅したいなと考えています。



【妙見エール】

公式
Instagram

農産物の環境負荷低減の「見える化」

～温室効果ガス削減への貢献と生物多様性保全への配慮～

見る×選べる みえるらべる

ご存じですか

第４回　広報誌「aff（あふ）」で「みえるらべる」を紹介

　「aff（あふ）」は、農林水産業の先駆的な取組や農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などをビジュアルも交えながらご紹介している農林水産省の広報誌です。現場のリポートや暮らしに役立つ情報も満載で、農林水産省のホームページから誰でも読むことができます。
　10月号の特集は「みどりの食料システム戦略」。その中のひとつ、「見る、選べる　環境配慮の取り組み」では、「みえるらべる」について取り上げています。

aff（あふ）
最新号は
こちらから▼

公式
Instgramも
更新中！▼

10月号では、みどりの食料システム戦略の背景や目標のほか、環境への配慮を星の数で示す「みえるらべる」の仕組みや、ラベルを取得した生産者の声、食品ロス削減に挑む京都の高校生の取組も紹介しています。私たちの食の今と未来を考えるきっかけになる特集となっています。



副地方参事官

「万が一のときも安心」労災保険に加入しましょう

熱中症…
農機具での事故…

農作業中の死亡事故が急増しています！

全産業の約13倍
（令和６年農林水産省の発表による）

【労災保険加入促進】
▼リーフレット▼

労災保険制度は、業務災害、通勤災害等による**労働者の負傷、疾病、障害、死亡等に対して、迅速かつ公正な保護**を行うための制度です。

現在、**農業では、労働者5人未満の小規模経営体は任意加入**となっていますが、労働者の保護や農作業事故に備える観点からも、全ての経営体で**積極的に労災保険に加入することを推奨**しています。

労災保険制度について▶
（農林水産省ウェブサイト）

環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

取組の紹介

神戸市西区　くさとね　やはし農園
－自然の力を活かし、農業の輪を広げる－

やはし農園 くさとね ku sa to ne 炭育ち


【八橋夫婦（和代さん、幸嗣さん）】

「くさとね やはし農園」の八橋 幸嗣さんにお話を伺いました。

これまでの歩み

神戸市出身で、もともとは非農家ですが、会社員時代に同級生の父親の農作業を手伝ったことをきっかけに、農業の魅力に惹かれました。

その後、淡路島の自然栽培農家のもとで2年間学び、令和２年に神戸市西区で就農しました。近隣の有機JAS認証農家からも学びを重ね、令和３年には有機JAS認証を取得しました。

自然の循環を活かした野菜づくり

ニンジン等の根菜類やズッキーニを中心に、少量多品目栽培を行っています。

刈った草は土に敷くほか、落ち葉や剪定枝を堆肥として活用するなど、地域資源を循環させ、自然の力を活かした土づくりを大切にしています。


畑で育つカラルー



パンフレット

「カラルー」で農業も地域も元気に

新たに挑戦しているのが、海外由来の葉物野菜「カラルー」の生産・加工です。収穫等の農作業では、「農福連携」にも取り組んでいます。

さらに、遊休農地を活用した委託生産と買取りの仕組みをつくり、カラルーの事業拡大により、地域の遊休農地の解消にもつなげたいと考えています。



カラルーパウダー

経営概況
・露地41a、
ビニールハウス７棟（20a）
（うち有機JAS認証ほ場は26a）
・少量多品目栽培

農業の楽しさを次の世代へ

神戸市の「神戸ネクストファーマー制度」の認定研修機関として、次世代の担い手育成にも力を注いでいます。

これからは、中学生のクラブ活動「コベカツ」を通じて、子どもたちが土に触れ、農業を楽しいと感じられる場をつくっていきたいと考えています。

▶ もっと知りたい方へ

神戸市「コベカツ」の詳細	くさとね やはし農園 ホームページ
神戸市「コベカツクラブ活動紹介」くさとね やはし農園の紹介	くさとね やはし農園 Instagram

取組の紹介

環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

～妻の故郷台湾の野菜を日本の食卓へ～

上郡町八保地区で「マコモダケ」を栽培する さかりゅう農園の坂口雪也さんにお話を伺いました。

－就農したきっかけは？－

2013年に、神戸市から上郡町に移住したタイミングで、農業を始めました。
その際、妻の出身地である台湾ではメジャーな食材でありながら、日本であまり作られていない野菜を作ろうと考え、「マコモダケ」の栽培に着手し、2025年の12月に有機JAS認証を取得しました。



坂口 雪也さん



栽培の様子

－大事にしていることは？－

上郡町は自然がとても豊かです。町内を流れる千種川の風景も美しく、住民が自然を大切に守っています。鉄道もあり交通の便も良いのですが、都会化されてなくて、自然がそのまま残っています。この上郡町の風景を守れるよう心がけていきたいと思っています。

簡単な経営概況

- マコモダケ15a

(有機JAS認証5a)

－今後の展望は？－

上郡町の有機農業協議会で活動する中で、薬草の会でマコモの葉がお茶になることを教えてもらい、有機JAS認証の取得に繋がりました。これからも地域とのかかわりを大切に、自然に負荷を与えない栽培を継続していきたいと思います。

マコモダケとは？



マコモダケは、水辺に育つイネ科植物「マコモ」の茎が、黒穂菌（くろほきん）の寄生で肥大したもので、クセがなく食物繊維やカリウムが多く含まれています。

【ウェブサイト】

【YouTube】

マコモダケの食べ方はこちらから ▶

令和８年産の水田における作付状況について

10月13日、「令和８年産の水田における作付状況（令和８年９月15日現在）」が公表されました。
全国の主食用米の作付状況は、飼料用米や麦、大豆等の作付面積が減少し、主食用米の作付面積は、近年において最も高い作付水準であった令和７年産（※）並みとなりました。（※）令和７年産は備蓄米の作付はゼロ。
詳細は、農林水産省及び近畿農政局のウェブサイトをご覧ください。

〈都道府県別作付状況〉
農林水産省ウェブサイト

〈近畿地域農業再生協議会別作付状況〉
近畿農政局ウェブサイト

【令和８年産の水田における作付状況】

（ha）

	主食用米 ①	【参考】 前年産（７年産） ②	【参考】 増　減 ①-②	酒造好適米	備蓄米	戦略作物等 加工用米	新規需要米	新市場開拓用米（輸出用米等）	米粉用米	飼料用米	WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）	その他	麦	大豆	飼料作物	そば	なたね
全国計	136.0万	136.7万	▲0.7万	1.7万	3.6万	44,948	85,964	10,893	7,354	24,952	42,722	43	85,008	67,297	39,442	20,682	611
兵　庫	34,000	33,600	400	4,829	-	583	1,074	45	59	190	776	3	1,616	1,252	691	87	7

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL：078-331-5924　Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp